新教出版社　新刊案内 9 月 24 日発行

ローマの信徒への手紙 下巻

邦人の手になる久々のローマ書本格注解
修辞学的＝書簡論的分析の成果が完結

原口尚彰 著

A 5 判・上製・240 頁・定価 5060 円（本体 4600 円）
978-4-400-11183-2　C1016

ローマの信徒への手紙は紀元 57 年頃、コリントに滞在する使徒パウロが、ローマ帝国東半分のギリシア語圏で伝道を終えた時点で、まだ訪問したことがないローマの教会へ書き送った手紙である。著者はこのテキストを、当時のディアスポラ書簡の文脈に置き直し、編集史的な観点と共に修辞学的＝書簡論的な分析を施すことによって、著者と読者とのコミュニケーションの中でいかなるメッセージがやり取りされたかを精緻に解明する。

＊上巻は緒論、および 1 章から 8 章までを扱う（定価 5060 円）。

はらぐち・たかあき氏は 1977 年、東京大学法学部を卒業後、日本ルーテル神学大学、同神学校を経て、シカゴ・ルーテル神学校で博士号取得。明治学院大学一般教育部講師、聖和大学人文学部助教授（新約聖書学担当）、東北学院大学文学部教授（新約聖書学担当）、フェリス女学院大学国際交流学部教授を歴任。現在日本ルーテル神学校講師（新約聖書学担当）。著書は『ガラテヤ人への手紙』新教出版社、『新約聖書概説』教文館、『信じることと知ること』東北大学出版会、『ロゴス・エートス・パトス：使徒言行録の演説の研究』新教出版社、『新約聖書釈義入門』教文館、『新約聖書神学概説』教文館、『幸いなるかな　初期キリスト教のマカリズム』新教出版社、など多数。